

2025年度出張授業一覧

※授業内容については一覧表の下部にある「授業に関する問い合わせ先」の各学科・専攻にお問い合わせください。

※英語英文学科、コミュニケーション文化学科については広報・募集グループにお問い合わせください。

【申込・問い合わせ先】大妻女子大学 広報・募集グループ ☎03-5275-6011 Fax 03-3261-8119 ✉ kouhou@ml.otsuma.ac.jp

家政学部

児童学科 児童学専攻	学科創設57周年、児童臨床研究センター開設33周年の伝統を生かし、発展し続ける子ども分野を深くさまざまな角度から理解することのできる学科です。保育・教育・生活・社会において子どもを原点に、専門家として広く活躍する人材を育成しています。
最少催行人数：10 (応相談)	

No.	授業名	内容	講師名	出張可能曜日	
				前期 (4~7月)	後期 (10~1月)
1	比較教育学 (保育学) 入門	私たちの保育や教育の特徴ってどのようなものだと思いますか？海外の学校や保育園の様子を見ると、日本とはおおよそ違った様子も見ることが出来ます。それは翻って私たちの特色を知ることにも繋がります。	坂田 哲人	水・金	水・金
2	学びの科学入門	幼児期における「遊びを通して学ぶ」とは、いったいどういうことなのでしょう、「経験的な学び」と「学びの科学」をキーワードに学びを深めます	坂田 哲人	水・金	水・金
3	保育者のいちにち	保育のいとこ、子どもとのかかわりについて「保育者のいちにちのしごと」という視点からみてみたいと思います。	坂田 哲人	水・金	水・金
4	保育の営み	保育の基本的な考え方、保育者の専門性について解説し、大学での学びや実習等についてもお伝えします。	久富 陽子	水・金 (両日とも午後)	水・金 (両日とも午後)
5	絵本の楽しみ	子どもたちの「やりたい！」に火がついたとき、保育者は、どのような距離感でかかわればいいのか。みなさんと一緒に考えます。	久富 陽子	水・金 (両日とも午後)	水・金 (両日とも午後)
6	子どもの「やりたい！」にどうかかわるか	子どもたちの「やりたい！」に火がついたとき、保育者は、どのような距離感でかかわればいいのか。みなさんと一緒に考えます。	久保 健太	水・金	水・金
7	子どもの発達を支える多様なコミュニケーション	乳幼児期における身近な養育者との相互交流の重要性について、映像を見ながら考えていきます。	高橋 ゆう子	火・金	金
8	乳児期から児童期にかけての育ちと支援	乳幼児期から児童期にかけて発達を概観し、発達のアセスメントや診断、支援について紹介します。	高橋 ゆう子	火・金	金
9	特別なニーズのある子どもの発達の理解	自閉症児や脳性まひ児が描いた絵を見ながら、子どもの興味や視点の理解について考えていきます。	高橋 ゆう子	火・金	金
10	子どもが夢中になる瞬間とそこにかかわる保育者の役割	乳幼児の遊びの画像や映像から、子どもが何かに夢中になる意味とそこに保育者がどうかかわるべきかを考えます。	石井 章仁	水	水
11	乳幼児期の発達と子育て支援	乳幼児期の発達をふまえて、子育て支援の様々な取組とそこでの保育者の役割を紹介します。	高辻 千恵	火・金	水・金
12	乳幼児の音楽表現	わらべうた・童謡・手遊び・リトミック等の体験を通じて、乳幼児と音楽との関わりを考えます。	古山 律子	水・金	水・金
13	保育学・幼児教育学の魅力	理論と実践の往還による学びの実際や子どもを中心に多角的に学ぶことの面白さを紹介し、保育の魅力をお伝えします。	古山 律子	水・金	水・金
14	保育者のスキルのベースにあるもの	視覚を閉ざして散歩すると、それ以外の4つの感覚、それらを統合する思考や感情、さらに記憶力や想像力…が発動し始めます。演習を通して、保育者のスキルのベースにある、それらの動きを探ります。	加藤 悦雄	金	火・金
15	子どもの権利を保障する社会的養育の方法 —保育者のもうひとつの活躍の場—	保育者のもうひとつの活躍の場である社会的養育の現場。「子どもの権利」を掲げ所にして、子どもと“こすれ合い”ながら、対等に関わっていく仕事の魅力について、事例をとおして考えていきます。	加藤 悦雄	金	火・金
16	保育者という仕事の喜びと専門性 —大学で学ぶことの意味とは—	今、就学前教育 (保育) に関し、その重要性に対する認識が高まっています。その営みを支える保育者の専門性とは何か。事例を通して考えて見ましょう。	岡 健	応相談	応相談

児童学科 児童教育専攻	学科創設57周年、児童臨床研究センター開設33周年の伝統を生かし、発展し続ける子ども分野を深くさまざまな角度から理解することのできる学科です。保育・教育・生活・社会において子どもを原点に、専門家として広く活躍する人材を育成しています。
最少催行人数：10 (応相談)	

No.	授業名	内容	講師名	出張可能曜日	
				前期 (4~7月)	後期 (10~1月)
1	なぜ人は書くのか	みなさんは、書くことは好きですか。子どもは高学年につれて書くことに難しさを感じていきます。大人 (小生) だってそうかもしれません。では、人はそもそもなぜ書くのでしょうか (書く必要があるのでしょうか)。書くことを厭わないようになるにはどうすればよいでしょうか。教育や心理の側面から考えてみます。	榎山 敏郎	土曜 (午前)	土曜 (午前)
2	〈学校の先生〉が変わる?!	世界中で学校や授業のすがたやカタチが変わってきています。もちろん、日本の学校もこれらからどんどん変わっていきます。ここでは、授業のようすはどう変わるのか、学校はどう変わっていくのか。そして何よりも、そこでみなさんの前に立つ〈先生〉はどうなっていくのでしょうか。未来の〈先生のシゴト〉をいっしょに考えます。	矢野 博之	土曜	火
3	教師になる道はいっぱい —どのようになりたいのかを考える材料として—	本専攻では、小学校及び中学校理科の免許を取得することができます。本学は私立大学で、本学科は児童学科です。"児童学 (子ども学)"を中心に据えています。国公立の教育学部とは違った方針や方向で教育活動を行っています。さまざまな大学があり、そこで教師を目指す道にはどのような違いがあるかをお伝えします。	石井 雅幸	火・木・金 (午後)	木・金

授業に関する問い合わせ先

学科・名称	問合せ先	電話	メール
家政学部			
児童学科	児童学科 坂田哲人	03-5275-5945 (児童学科共同研究室)	手配中